

テーマ：「ドイツの今と昔」

《趣旨》

ドイツ、ボン大学の学生が「ドイツの今と昔」について日本語でプレゼンテーションを行います。TV 会議システムを用い、独・韓・日3か国の学生が情報交換や意見交換を通して、自文化および他文化を知るとともに、意思伝達リテラシーの促進を目指します。

日 時：2012年6月8日（金）

日本／韓国 17：00～18：30（ドイツ 10：00～11：30）

場 所：本学人間文化棟 508 号室

参加費：無料（本学学生・教職員ならどなたでも参加できます。）

使用言語：日本語（一部英語）

本学主催：グローバル教育センター、グローバル文化学環

●プログラム

(日・韓) (ドイツ)

17：00／10：00

発表1 「ボンとベルリン・今と昔」

<発表者>

フィリン・オッター (Philin Otto)

ケリン・ファルク (Kerrin Falck)

17：30／10：30

発表2 「ドイツにおける労働内容の変化」

<発表者>

マックス・ムル (Max Mull-Christian)

イエン・チェン (Yan Chen)

マーティン・ライバック (Martin Rybak)

マイケ・ユリッヒ (Meike Afra Jülich)

18：00／11：00

発表3 「チョコレートの消費」

<発表者>

ニナ・ベンツキルヒ (Nina Benzkirch)

グドゥラ・フランケ (Gudula Franke)

ユリア・ヴェックミュラー (Julia Weckmüller)

18：30／11：30

終了

*発表はそれぞれ約 15～20 分です。